

## 神奈川県立三ツ境養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立三ツ境養護学校 第3回学校運営協議会		
開催日時	令和3年2月25日(木) 10時～11時20分		
開催場所	神奈川県立三ツ境養護学校 会議室 一部オンライン参加		
出席者	運営協議会委員6名(本校校長を含む) 事務局教職員12名(管理職、事務長、総括教諭・教諭他)		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	教頭 野呂 隆 電話 045-365-3711		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	
○会議経過	<p>1 学校長挨拶 第3回はオンライン開催で、感染症対策を工夫した日々の指導や業務を報告する。</p> <p>2 会長挨拶 前半は学校評価部会、後半は学校運営協議会としてオンラインでの画面共有を適宜使用して進める。試験的な所もあるが、色々な意見を出し合っているとよい。</p> <p>3 学校評価部会 (1) 副校長より 中間評価以降のことを踏まえて、取り組みと評価を報告</p> <p>○ アンケートの報告 回答方法を見直し回収率が70%まで増えた。「そう思う」の傾向が多い中で、タブレット等の活用は評価が低い。「わからない」が多かった内容は、キャリア教育(小中学部)、地域との交流、学校評価を活かした改善。</p> <p>○ 学校評価 評価の観点は、運営協議会の意見を反映させた評価としたい。</p> <p>① 教育課程・学習指導 コロナ対策の中で、系統的な教育課程の編成が進められなかった部分がある。ICT:1学期に動画配信等を行い、今後は機器貸出等、理解を得ながら進める。</p> <p>② 児童・生徒指導・支援 CSTの活動や相談カードを使った校内支援の流れ、ケース会議も浸透してきた。新学習指導要領を踏まえた授業改善を授業実践シートの活用で進めた。この状況下での居住地交流の在り方も検討していく。</p> <p>③ 進路指導・支援 進路担当が授業で連携した。小・中学部へのキャリア教育の視点の周知は課題。</p> <p>④ 地域等との協働 ホームページで教材を公開する等工夫したが、周知は十分ではなかった。今後、この他にも含めてより一層情報発信をしていきたい。</p> <p>⑤ 学校管理・学校運営 工事の騒音の影響があったが、安全に行うことができている。業務改善としてTeamsを活用した会議を行った。プロジェクトチームで進めている。リーダーの育成も行っていきたい。</p> <p>(2) 各学部からの報告</p> <p>① 小学部 「訪問教育について」 児童宅に訪問時は、感染症対策を厳重に行っている。着替え、マスク交換、手洗い消毒の徹底、教材共有しない等。</p> <p>② 中学部 「給食指導について」 教室と食堂に分かれて行き、手袋・フェイスシールドを着用している。食育として、ランチタイム通信を活用し食への興味を高めている。</p> <p>③ 高等部 (肢体不自由教育部門) 「パラスポーツについて」 ボッチャ、アーチェリー等、オリンピック種目になる競技やその他にも取組んだ。実態に合わせ、ルールを分かりやすく変更し、教材を工夫している。</p>		

- ④ 高等部（知的障害教育部門）「作業学習について」  
金券を使ったり、密を避けたりと感染症対策の工夫をして、校内で販売を行った。生徒会も活躍し、制限がある中で主体的な活動となった。
- ⑤ 分教室（知的障害教育部門）「高校との交流」  
図書室での読書活動を取入れ、交流として生徒が読んだ本の紹介カードを作り表紙に添え掲示した。他の高等学校にも、模造紙にまとめて送り交流を行った。

#### 4 質疑応答

- ・アンケートの内容をしっかりと受け止め、改善に努めて欲しい。
- ・アンケート項目を変更しているが、結果の推移が大切なので比較できると良い。  
→目標設定が今年度からの4年間となるため、項目を変更した。
- ・全体の回収率だけでなく、どの学部が高い等の詳細があると良い。  
→今回の回収率に満足せず、改善していきたい。アンケートへのICT活用も検討したがうまくいかなかった。
- ・アンケートで「わからない」との回答が多かったことで、課題が見えてくる。  
→授業参観等取組を見る機会を設けられなかったことが一因だと思う。ホームページでの周知方法や、動画配信も工夫していきたい。
- ・学校からの発信は少ない。学年通信等で他学部のことも発信できると良い。ホームページより月末配付の通信の書面の方が良く見る。
- ・小中学部の保護者は日々の生活に視点があり、卒業後や進路のイメージをしづらい部分がある。  
→学校評価やアンケートの項目に適するか検討の余地があるのではないか。アンケートではニーズが明確にならないものもある。
- ・一つひとつの方策について、誰が責任者となり、取組むのか明確に示してほしい。  
→別紙にて明確にする。
- ・何をどこまで行うか、具体的な目標を挙げ、取組んでいって欲しい。
- ・学校評価の「できた」「できなかった」の部分を分けると、理由や実現するための手立てを検討しやすくなるのではないか。
- ・何を改善したらどこがどのように変化したのか、繋がりが整理され、分かると良い。
- ・教職員の回答でチームワークの項目の評価が低い点が気になる。
- ・地域から児童・生徒を見ていて、在籍数や昨年度から導入された大型バスの話題があがっている。学校の存在が地域の発展にもつながるとよい。
- ・道路関連の工事による大型工事車両の出入りが予想されるので、通学等の安全に気を付けてほしい。自治会と連携できるので、心配なことは相談して欲しい。

#### 5 学校運営協議会

- ・具体的に各回の評価部会の内容の計画を立てるとよい。
- ・「パラスポーツ」は地域との協働の一つの形であるため、切れ目のない支援部会で軸として、交流等行っていけるとよい。社会生活で取組むことや地域とのつながりが持て、校内でも取組んでいる。

Q:切れ目ない支援というと就学前小中高、卒後の連携のイメージだが。

→それらのつながりも含めて地域の核としてのつながり。「切れ目のない支援」を最終的には共生社会の実現に繋がる部分であり、本校の取組みを知ってもらう一つとして考えたい。「社会・地域で切れ目なく生きていく」切り口の一つ。

- ◎パラスポーツだけを取り上げるのではなく、それを切り口として活動していく。【承認】  
来年度は50周年を迎える。地域に発信し取組みたいので、ご協力をお願いしたい。単年で終わるのではなく、地域とのつながりのきっかけにしていきたい。

#### 6 学校長より

「学校からの発信」を改めて考える機会となった。今後も学校の外から視点で、ヒントになるようなこと等、今後も意見を頂けたらありがたい。

#### 会議資料

- ・令和2年度 第3回学校運営協議会開催要項
- ・令和2年度 学校運営協議会委員名簿
- ・令和2年度 学校評価報告書実施結果（校内）
- ・令和2年度 学校評価アンケート集計結果